



上越教育大学

第247号 2023年12月

国際交流のひろば



J.TESTの受験と講評

11月4日(土)本学において、留学生がJ. T E S T 実用日本語検定(A-Cレベル)を受験し、12月8日(金)人114教室において、田島留学生支援専門部会委員より試験の成績通知と講評を行いました。

留学生が受験したものは中級から上級向けのものです。本学では留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の日本語支援に役立てることを目的に毎年実施しています。難易度は毎回一定のため、毎年受験することにより日本語力の進歩が分かります。



留学生が語る／留学生と語る会



12月20日(水)16時30分からOpen MUJI(無印良品直江津)において開催し、市民、学生、教職員など39名が参加しました。

今回は『各国の地球環境保全への取組みについて語り合おう』というテーマで、谷留学生支援専門部会委員の進行のもと、最初に無印良品直江津店の長澤様から無印良品の環境保全への取組みの事例紹介および店内見学ツアーを行っていただき、次に留学生3名(中国、パキスタン、ブラジル)が日本に来て感じた環境についての良い点悪い点、また自国の環境問題や取り組みを紹介しました。最後に参加者全員で意見交換を行いました。

参加者からは「世界の国々の良い所を共有し、広めていくことは大切。そのような場であり、とても良かった」「地球の共通の問題を異なるバックグラウンドの方々から話を聞ける良い機会だった」「有意義で刺激をもらった」「留学生の目からみた日本の姿が分かり、ためになった」と感想がありました。



世界を語ろう!

12月6日(水)、19日(火)12時10分から、留学生交流プラザおよび学生会館のPOTATOにおいて実施しました。

「世界を語ろう!」は、留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉などについておしゃべりをする交流の場です。

12月6日(水)アウラ・ヴィオレッタさんがコロンビアについてクイズを交えながら紹介し、仲間が集まった時にするダンスを教えてみんなで楽しみました。12月19日(火)魏之絢さんが中国と故郷の内モンゴルについて紹介し、最近の中国のおもしろいことやクリスマス、お正月について話しました。

和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。



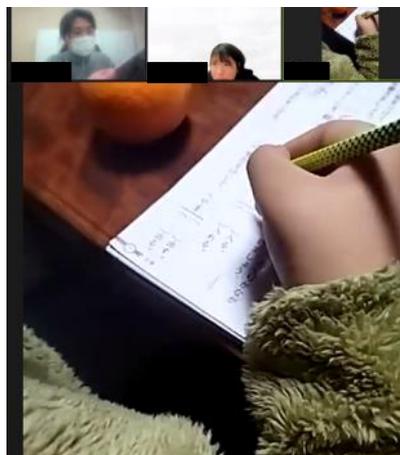
外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「冬休みの宿題教室」

12月22日(金)、26日(火)「冬休みの宿題教室」を実施しました。これは上越地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に、冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に学習支援をするものです。

22日(金)は大雪のため、安全面を考慮し、残念ながら急遽中止としました。26日(火)に支援を受けた児童生徒は20名で、支援者として留学生および日本人学生が10名参加しました。

今回は対面での支援と、大学への移動が難しい児童生徒への対応としてWeb会議システムを利用し、児童生徒が参加しやすい環境を設定しました。

参加した楡井恵実さんは「子どもによって、同じ説明でも伝わり方が違うので、興味深かった。例えば、子どもの関心の高い内容から教えた方が伝わりやすいと感じた。」と感想を述べていました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)